

「消防団の力向上モデル事業」事業

NO.	44	地方公共 団体名	山梨県小菅村	消防団名	小菅村消防団
担当課	小菅村役場出納室	連絡先	Tel 0428-87-0111 E-mail tetsumochizuki@vill.kosuge.yamanashi.jp		
事業名	デジタルを用いた消防団の力充実強化事業				
事業詳細	<p>○ 事業の目的・必要性</p> <p>【目的】</p> <p>本村消防団の特徴として、ここ数年都市部から移住した多くの若者が入団しており、全団員の約60%が入団10年以内の村外出身という現状がある。このため、村内の地理的状況や、火災発生箇所、消火栓、防火水槽等の位置、火点までの移動方法等、消火活動を行うまでの基礎的情報を把握するまでに時間を要してしまう。またこの課題を補うために、指揮する立場の役員や地元出身者の経験に委ねてしまうことは消防団として地域の安心安全を守ることができない大きな問題となっている。これらの課題を解決するために一元的に情報収集、情報共有ができるようデジタル化を推進することが必要となっている。</p> <p>○ 事業内容</p> <p>全消防団員を対象に、スマートフォンを用いた専用アプリの導入を進め、課題解決に向けた検討会や説明会を行い、小菅村に特化した専用アプリのカスタマイズを進める。9月からアプリを用いた実地訓練を重ねる。また、9月以降台風シーズンの前に水利点検記録等をアプリで行い、全団員で共有化することにより消防活動の充実強化、活動の見える化を図る。</p>				
	   				
	【専用アプリの導入】			【アプリ内による水利施設の報告の一元化】	
				【導入に向けての検討会】	

## ○ 目標達成状況

指標	単位	当初目標値	実績値	備考
説明会	回数	3回	7回	
訓練参加者	人数	260人	287名	
講習会	回数	2回	12回	
検討会・打合せ	回数	4回	10回	

## ○ 事業成果

本村消防団の課題である「早期の消火活動に向けた正確かつ迅速な情報伝達」「迅速機敏な出動体制の整備や団の情報共有」「紙媒体での活動報告」をスマートフォンを用いた専用アプリの導入等によるデジタル化を推進により、団員の負担軽減を図ることが可能となった。また、情報を一元化することで共通認識を持った充実した消防団活動が実施できるようになった。

コロナ禍において、ここ数年間十分な訓練が実施できない状況であり、また消防団員数の減少により一人一人の負担増大が大きな課題となっていたか、この事業を導入できたことにより、良き伝統を守りつつ、団員への負担を極力減らすことができたことが大きな成果となった。

今回のモデル事業においてスマートフォンを用いたデジタル化は、これからさらに進化を遂げるはずである。新時代を担う若い団員の活動しやすい環境整備のひとつとして、引き続きこの事業を進めていきたい。

## その他参考 情報

※URLの記載などをお願いします。